

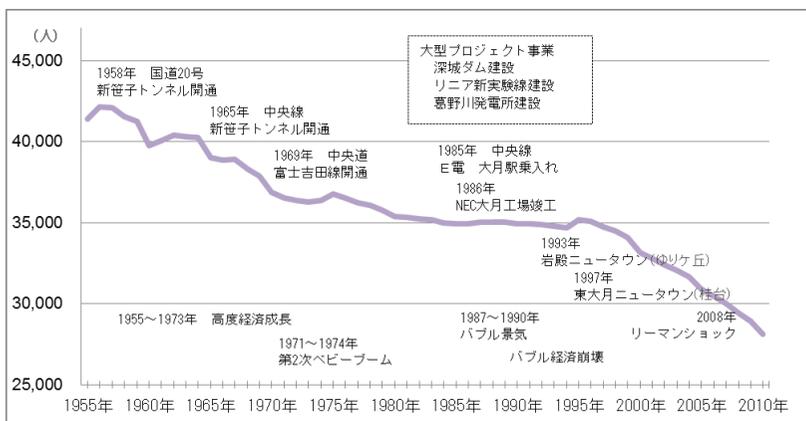
大月市人口ビジョン（概要）

人口ビジョンとは...

地方が成長する力を取り戻し、急速に進む人口減少を克服するため、国と地方が総力を挙げて取り組む上での指針とした「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を勘案し、本市における人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示したものです。

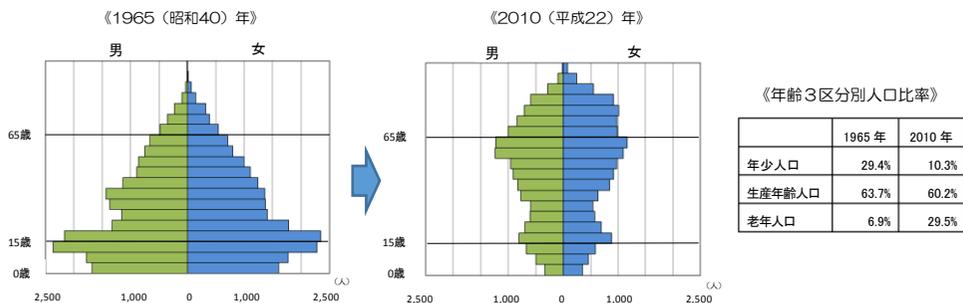
本市の人口の現状

■総人口の推移



本市の総人口は、1955年（昭和30年）から減少傾向となっていますが、特に近年は人口が減少しており、死亡数が出生数を上回る自然減、転出数が転入数を上回る社会減が相まって人口が減少し、あわせて少子高齢化も進んでいます。

■性別・年齢5歳階級別人口（人口ピラミッド）



人口の展望と目指す将来の方向

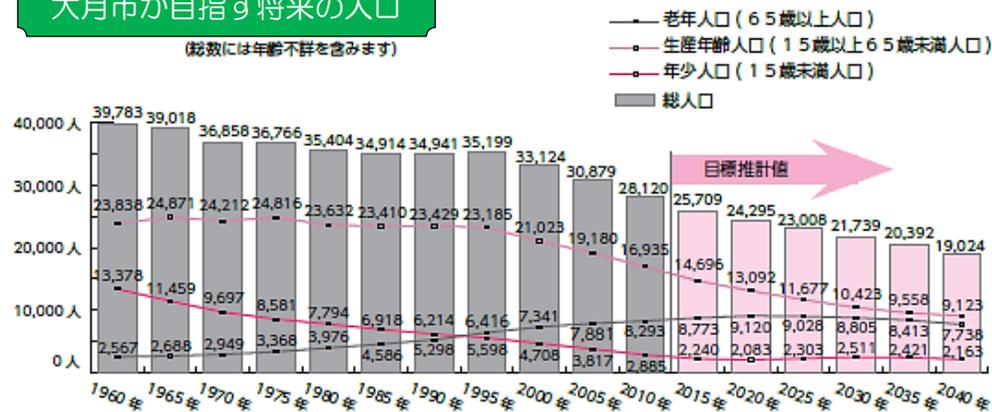
現状のまま人口が
推移した場合

2040年（平成52年） 15,057人
（「国立社会保障・人口問題研究所」の推計）

大月市が目指す将来の人口

（総数には年齢不詳を含みます）

2040（平成52年） 19,000人



目標人口を達成するための具体的な目標数値

☆ 合計特殊出生率を高める

出産、子育ての支援を継続し、合計特殊出生率を高める。

【合計特殊出生率 目標数値】

2040（平成52年）1.80（出生数124人）

☆ 社会減に歯止めをかける

雇用の創出や地域の魅力と交流による地域活性化を進めることによって転出を抑制する。

【社会増減 目標数値】

2035（平成47年）～2040（平成52年）
社会増減 0人

■合計特殊出生率と社会減の目標数値

